

極東開発グループ

オーストラリアSTG社 グループ化について



長期経営ビジョンと現中期経営計画

長期経営ビジョン - **Kyokuto Kaihatsu 2030** -

極東開発グループは、創業以来大切に培ってきた「技術力」「信用」そして「和協」の精神を礎に
サステナブル社会の実現・発展に貢献するグローバルな総合インフラメーカーを目指します。



極東開発グループ

中期経営計画 2022-24

Creating The Future As One

長期経営ビジョンに基づいた第1ステップとして
持続的な「社会貢献」と「成長」へと繋げるための
極東開発グループの総合的な基盤確立を目指す。

〔戦略投資〕 3カ年累計で、新規M&A投資に約100億円

STG社 - 会社概要

概要



社名	STG Global Holdings Pty Ltd
代表者	Ross William Yendle, CEO
設立	2022年
本社所在地	29-31 Evolution Drive, Dandenong South, VIC, 3175 (オーストラリア ビクトリア州 メルボルン近郊)
事業内容	吸引掘削車、散水車等の製造販売
財務実績	(2024年6月期) 売上高：125.5百万豪ドル 営業利益：12.6百万豪ドル
従業員数 (連結)	230名 (2024年6月末)

沿革

- 2001 最初の製品(散水車)を設計製造
- 2002 メルボルンの製造工場設立
- 2005 世界初の完全溶融亜鉛メッキの散水車の製造
- 2009 給油車の設計製造を開始
- 2014 クーメラの工場設立
- 2015 吸引掘削車の設計製造を開始
- 2016 STGの名前を冠する法人設立
オルモーの工場拡大
- 2019 車両運搬車の設計製造を開始
- 2020 フロント・サイドローダー式のごみ収集車の設計製造を開始
シドニーにサービス・パーツ工場を設立
- 2021 ダンデノンに製造・サービスセンターを設立
セミトレーラー吸引掘削車の製造開始
- 2022 当持株会社設立
- 2023 脱着車の製造開始
シドニー工場の拡張

STG社 - 製品ラインナップ

吸引掘削車
(バキューム車)

豪州シェア No.2(※)



吸引掘削車

散水車/給水車

豪州シェア No.1(※)



散水車/給水車

ごみ収集車/脱着車



ごみ収集車



脱着車

その他
(車両運搬車・給油車等)



車両運搬車



給油車

用途

非破壊掘削、
電気・ガス・通信配管工事

道路工事、粉塵抑制
給水

廃棄物収集

(車両運搬車)
車両・重機の運搬
(給油車) 給油

性能

積載量 3,000~16,000L

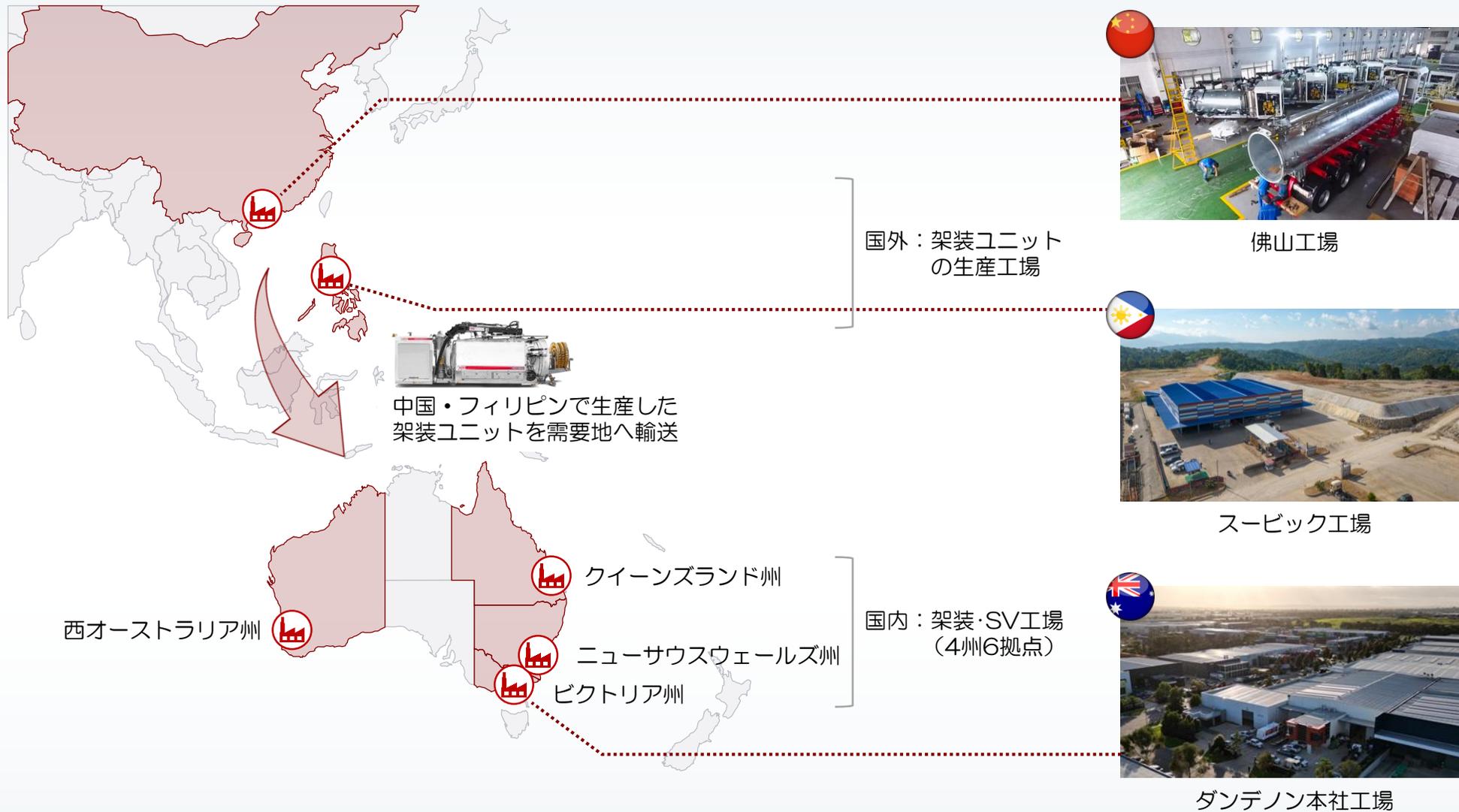
スチールタンク / ポリタンク
積載量 8,000~19,000L

(ごみ収集車)
フロントローダー / サイド
ローダー / リアローダー
積載量 12m³~33.5m³

(車両運搬車)
荷台長 8.7m / 9.2m
(給油車)
積載量 2,100L / 4,900L

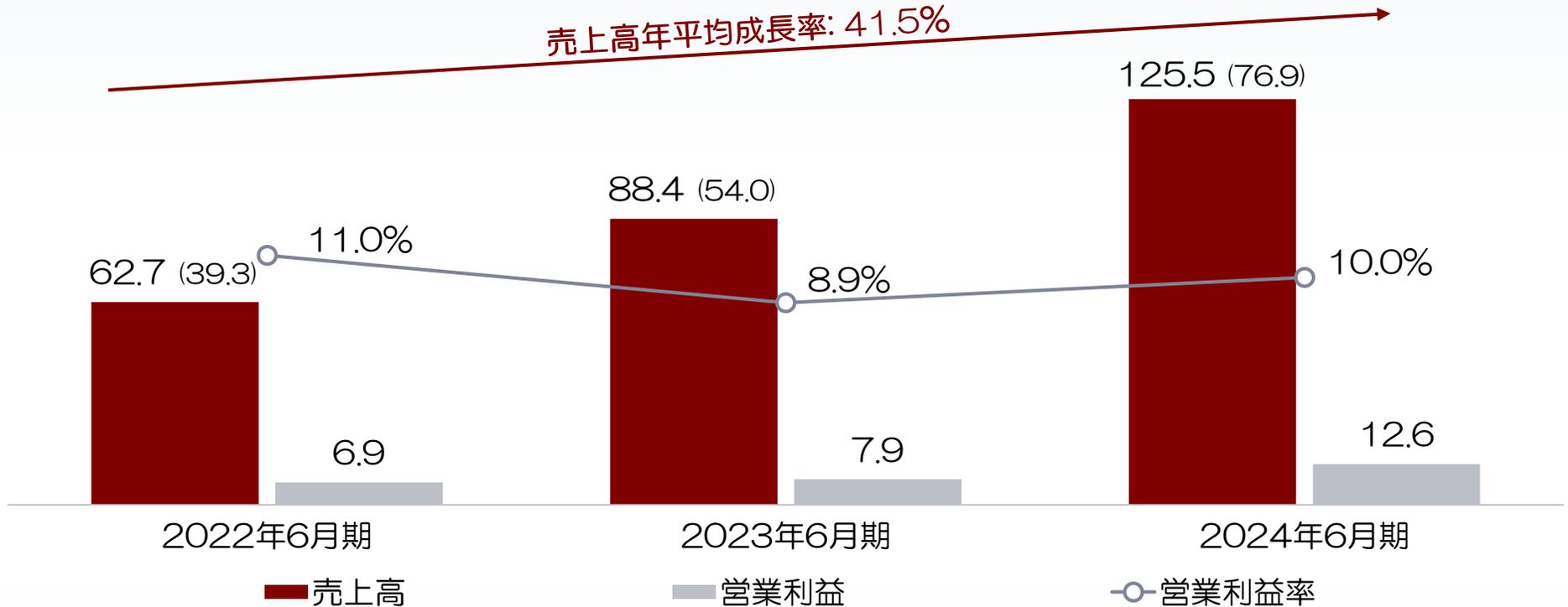
※シェアはSTG社調べ

STG社 - 主要拠点



STG社 - 業績推移

(単位：百万豪ドル)



※売上高の括弧書き数値はシャンを除く売上高

- ✓ 足元は売上高・営業利益ともに、年平均成長率約40%と急成長
- ✓ 今後も安定的な成長を見込む

STG社の強み・魅力

1

ユニークなビジネスモデルとそれを可能にするエンジニアリング

- 港湾に近い国外生産拠点を活用した、コスト効率の高いビジネスモデル
- 標準コンテナに適合するよう設計された架装ユニットは多様なシャシに架装可能
- 架装ユニットの在庫コントロールで圧倒的に短いリードタイムを実現

2

豪州主要都市圏をカバーするネットワークと業界プレゼンス

- メルボルン、シドニー、ブリスベン、パースと、豪州主要都市圏近郊に架装・サービス工場を保有
- オーストラリア国内で、スチール製散水車/給水車はシェア第1位、吸引掘削車はシェア第2位

3

多様な製品群と広い顧客ポートフォリオによって需要変動への耐久性が高い

- 多様な製品ラインナップによって、顧客セグメントは土木・インフラ、建設、環境サービス、鉱業、物流等多岐にわたり、需要変動への耐久性が高い。
- 商談チャンネルはリピート顧客、ECサイト、自社サイト、ダイレクトコール、ディーラー等。高い品質と耐久性、短いリードタイム等を強みにリピート顧客による受注がもっとも多い。

4

優秀な経営陣・スタッフ

- 上記の発展を可能にする優秀な経営陣とスタッフ

極東開発グループとの想定シナジー



拠点統合/相互活用

- Kyokuto AustraliaとSTG社のクイーンズランド州拠点を統合し、販売・SV網の活用と生産効率化を図る
- 両社のアジア拠点（中国、フィリピン、インドネシア、インド）の相互活用・生産効率化

製品ラインナップの補完性を活かしたクロスセリング

- 吸引掘削車等、STG社製品を日本市場や極東開発のグローバルネットワークで販売
- 中小型ごみ収集車等、極東製品を豪州市場で販売

その他

- STG社のビジネスモデルの取り込み
- 製品開発や設計・調達など他のバリューチェーンにおける協力



極東開発グループは持続可能な
開発目標（SDGs）を支援しています。